

令和2年度

# 安 全 報 告 書



山形鉄道株式会社

# 安全報告書

(令和2年度)

## 1. お客様はじめ沿線住民の皆様へ

平素は会社運営につきまして、関係各位、お客様はじめ沿線住民のご支援、ご協力を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。また、弊社は沿線の2市2町（南陽市、川西町、長井市、白鷹町）を繋ぐ公共交通機関として、安全輸送を最優先に考え、お客様に安心してご利用いただけるように努めております。

前期から建築整備工事続いておりました長井市役所と長井駅の建替え工事は、順調に建設が進み3月に完成し令和3年5月6日に駅の開業を迎えました。

安全対策としての施設の整備については、木マクラギからPCマクラギへの交換及び踏切遮断機等の更新など継続的に実施しました。

新型コロナウイルスの影響により、厳しい状況となりましたが、鉄道事業者として「安全・安定」輸送を第一義に地域公共交通機関として、役員、社員一同誠心誠意努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。皆様のご意見をいただければと思いますので宜しく願い申し上げます。

山形鉄道株式会社

代表取締役社長 中井 晃

## 2. 安全に対する基本方針

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は「輸送の安全確保」です。「安全の基本方針」に行動規範の「安全綱領」を加えると共に、スローガンを掲げ、社長以下全社員に周知し取組んでおります。

- (ア) 安全の確保は輸送の生命である。
- (イ) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (ウ) 執務の厳正は安全の要件である。
- (エ) 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いをする。
- (オ) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をする。
- (カ) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (キ) 常に問題意識を持ち、必要な改善に挑戦する。

### (2) 安全目標

区分	項目	内容
目標	列車事故	発生させない。
	人身障害事故	発生させない。
	インシデント	発生させない。

### 3. 事故等の発生状況

(1) 【列車・人身事故】発生は、ありませんでした。

(2) 【踏切障害事故】発生は、ありませんでした。

なお、過去5年間の踏切事故の発生件数と死傷者数の推移は、次のとおりです。

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事故件数	0	0	0	0	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(3) 輸送障害の発生状況

(ア) 輸送障害による運休又は、30分以上の遅れが発生した件数及び本数

種 別	運休内訳				30分以上の遅延内訳			
	自然災害	車両	設備	その他	自然災害	車両	設備	その他
件 数	7	4	1	1	9	4	2	1
本 数	90	14	2	0	19	3	6	1

(イ) 踏切支障の発生件数

※ 単位；件

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
遮断桿折損	14	9	9
支障装置いたずら	1	0	0
その他の事象	0	1	0

(4) インシデントに該当する事案は、ありませんでした。

### 4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 「安全と笑顔を乗せて未来へつなぐ」を安全スローガンに掲げ、“安全”という意識の充実を図ります。

(2) 踏切事故ゼロをめざして

(ア) 営業車・工務車両に「踏切事故防止運動中」のプレートを貼付け、広報活動を行なうほか、踏切2箇所では踏切事故防止キャンペーンとして踏切事故防止啓発フラッグ運動を実施しました。

(イ) 駅構内にポスターを掲示し、踏切事故防止の広報活動を図りました。

(3) 教育訓練関係

- ・ 施設・車両保守に係わる技術の継承を図るため OJT などを活用し若手社員の技術向上に努めました。

(4) 安全のための支出

国土交通省の令和2年度地域公共交通確保維持改善補助事業を活用し施設の安全対策、軌道整備並びに車両の定期点検（重要部検査）2両を実施しました。各事業費は、以下のとおりです。

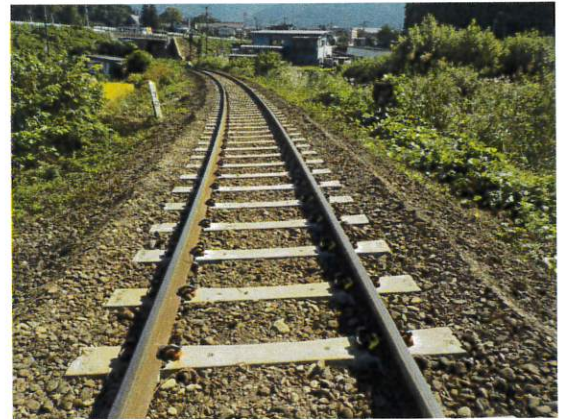
(ア) 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通確保維持改善事業	総額
① 踏切保安設備更新（遮断機・警報機）	4,934万円
② 線路設備（PCマクラギ化）	16,476万円
③ 車両定期点検整備（重要部検査2両）	23,550万円

① 遮断機・警報機更新（第2白兔踏切・今泉踏切）



② 軌道整備費（PCマクラギ化）  
四季の郷～荒砥間（29k300m付近）  
宮内構内（2k900m付近）



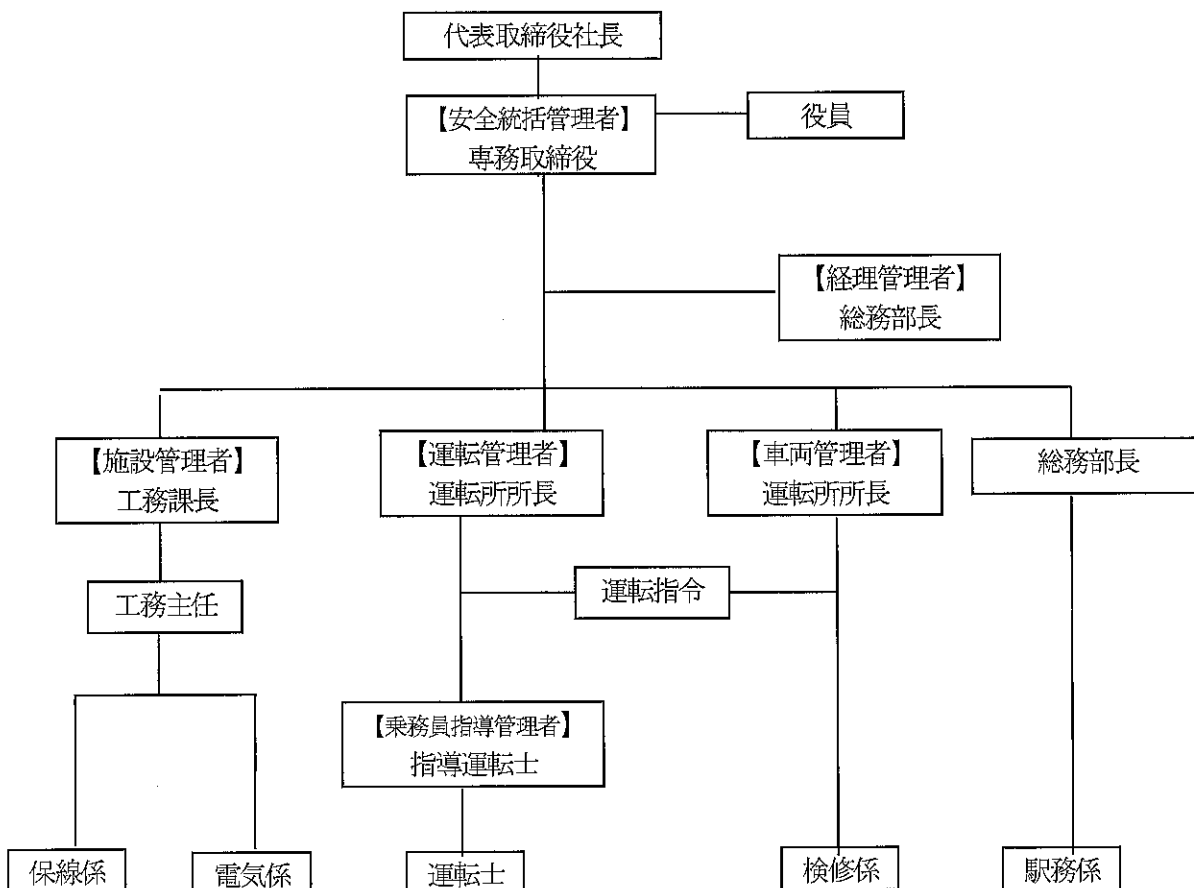
③ 車両定期点検整備（重要部検査2両）



## 5. 安全管理体制

### (1) 安全管理組織

弊社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で安全統括管理者、運転管理者、施設管理者、乗務員指導管理者等がそれぞれの責任を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
専務取締役 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転所所長 【運転管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
指導運転士 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
運転所所長 【車両管理者】	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
総務部長 【経理管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運輸の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する事項を統括する。

6. 利用者・住民の皆様との連携のお願い

長井駅及び宮内駅の旅客通路は歩行者専用です。自転車で通行することはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

**【お客様ご案内窓口】**

山形鉄道株式会社

Tel;0238-88-2002

FAX ; 0238-88-5187

E-mail ; yr-inf@flower-liner.jp